



(Vol.12)

市民による  
まちの  
PRチーム

三原市シティプロモーション

# ぐっとみはら編集部

まちの「いいところ」を  
「#ぐっとみはら」を  
つけて投稿しよう!

## あの戦国大名も涼を取った!?

「残暑を逃れて、少しでも涼しく過ごしたい!」と思い、戦国大名・毛利元就も涼を取ったとされる本郷町船木の「瀑雪の滝」に行ってきました。

駐車場から滝までの約300mの道のりを進む中、線路下のトンネルに差し掛かったところで、滝から流れる川の音が聞こえてきました。木々が屋根のように日を隠してくれる道をさらに数分ほど進むと、徐々にその音が大きくなり、高さ約30m・幅約4mの巨大な滝が目の前に現れました。

涼を求めて名所「瀑雪の滝」へ

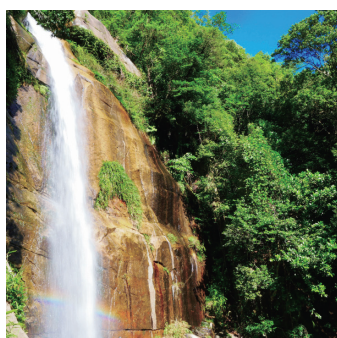


記事を担当した  
編集委員  
くら

Instagramを  
チェック!



市内のグルメ・スポット・  
イベント情報を発信中!



人々を癒す  
自然のミスト

マンションの10階に相当する高さから「ザーザー」と音を立て、水が勢いよく滝つぼに流れ落ちる光景に圧倒されると同時に、滝からあふれ出る天然のミストシャワーを浴び、しばしクールダウン。ぼんやりと滝を眺めていると小さな虹を発見し、心もほっこりできた瞬間でした。

いにしえから時を超えて人々を癒してきた「瀑雪の滝」。皆さんもぜひ訪れてみてはいかがでしょうか?

ぐっとみはら  
編集部とは?



市民や市にかかわる人たちが集まり活動するまちの広報チームです。三原の魅力を発掘・発信しています!

まちびとライター



西本さん



横田さん

「このまちが好き!」まちびとライターが行く

## 三原の盛り人

(最終回)

地域を盛り上げている人や、祭りなどの伝統行事を守り続けている人たちの思いを伝えます。



年4回ほど、片側2kmに及ぶ山道の草刈りを行なっている



落ち葉拾いの後は、落ち葉を燃やして作る焼き芋やピザを楽しむ

「三原市公式note」  
で記事掲載中!



Q 今後の活動内容について教えてください。

令和5年4月からは宇根山活性化グループの一員として宇根山家族旅行村や天文台の指定管理者としても活動していきます。市内外から訪れてもらえるように、宇根山全体の景観を維持する活動を続けています。ほか、地元で採れた野菜や地域で作ったお餅などの特産品の販売も始めています。多くの人が集まり楽しんでもらえる場所にしていきます。



今回の盛り人

NPO法人宇根山

代表  
玉浦清司さん

Q 活動内容を教えてください。

有志で行なっていた宇根山の環境整備活動を広げるために平成29年に会を設立し、現在42人で活動しています。宇根山全体の清掃活動や久井岩海の環境整備、岩海の成り立ちや地

図を載せたパンフレットの制作・配布などを実施しています。毎年12月には岩海で落ち葉拾いのイベントも開催し、落ち葉を燃やして作る焼き芋などをふるまっています。



市民の安全安心、市の発展のための道路行政を



道路は私たちの生活に欠かせないものです。この道路を安全に維持管理することは、極めて重要な行政の仕事と考えています。

車や自転車、徒歩など、交通手段によって、道路の見える範囲は異なります。市民と市長の対話会「みらいトーク」で、ある高校生が、下校時に感じている危険箇所についての話を聞かせてくれました。通学路は、関係機関が協力して安全対策を行なっていますが、引き続きしっかりと取り組むべきだと感じました。

また、三原の未来の発展をめざした道路行政の推進も重要です。

令和3年の木原道路開通後、渋滞解消をはじめ、交流人口の拡大や災害対応力の強化などさまざまな効果が確認されました。

次に取り組むべきは、新倉町ランプ以西の福山本郷道路の整備です。新倉町ランプ西側の2号線は、朝夕に慢性的な渋滞が続いており、この道路整備に

よって渋滞解消だけでなく、中心市街地と広島空港などへのアクセスの改善も期待されています。整備に向けて国、県、市による勉強会が開かれ、現状の課題や必要性などについての議論がスタートしました。また、国への要望活動を加速するために、市、市議会、経済団体で構成する「期成同盟会」も設立しました。道路整備には、長い時間がかかりますが、市の未来を見据えて、着々と前進できるように取り組んでいきたいと思っています。



▲期成同盟会設立総会で意見交換を実施



# こちら三原市消防本部!



▲市HP

図 消防本部(☎ 0848-64-5910)



9月9日は救急の日!



増加する救急要請!  
本当に救急車が必要?

## いざという時の緊急連絡

子どものけがや病気に  
関する相談  
小児救急医療電話相談  
(#8000)  
時 19時~翌8時

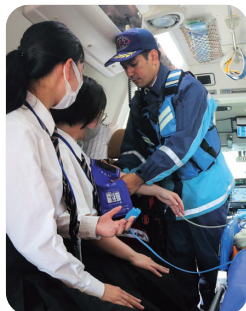
FAX での緊急通報も  
できます  
(119番)

いつもと様子が違う、  
おかしい場合は  
迷わず119を!

もしものときの  
救急車利用  
マニュアル▶



インターンの高校生が取材!  
(総合技術高校2年 安藤さん、飯田さん)  
救急車に乗車体験!



車内には約100種類の救命処置のための資器材があり、その中で最も使用するのが持ち運べるベッド「ストレッチャー」です。体重159kgの人まで運べるそう。実際に乗ってみると少し高さがありますが、隊員が優しく声を掛けてくれるので安心できました。



全国的にも、市でも、救急要請件数が増加傾向です。近年、軽症でも救急車を利用する人が増えており、一刻を争う傷病者の搬送に遅れが生じることがあります。119番通報する前に、自家用車やタクシーなどの利用を考えてみてください。

救急車を本当に必要としている人のため、ご理解とご協力をお願いします。ただし、命に関わる症状の場合は迷わず通報しましょう。